

質 問 順 位	10	質 問 者	柴 田 文 男 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
1. 建設行政	1. 除排雪体制の維持について	1. 道内の建設・土木作業員の有効求人倍率は3.86倍と全職種平均の1.16倍に比べ、4倍近い高水準となっている。今後の本市の除雪体制の維持に極めて重い課題が横たわっている状況にある。 作業員の高齢化も指摘され、若手の作業員の確保も喫緊の課題である。5年、10年後の本市の除雪体制が維持できるのか不安が広がっている。 市としてこの問題に対する現状認識と今後の課題と対応について伺う。		
		2. 作業員確保が喫緊の課題と申し上げたが、作業環境等の改善も重要な視点である。現在は10センチメートル以上の降雪時に除雪車が始動しており、深夜の作業となっている。これは市民の理解とともに道路状況の問題も生じるが、深夜除雪に一定の基準を設けるなどの対応を図ることで、少しでも除雪体制の維持に向けた環境づくりにならないかと思うが、市の考えを伺う。		
2. 教育行政	1. 教育支援員の確保について	1. 市内の学校に配置されている教育支援員は小学校4校（67％）中学校2校（50％）となっており、子どもたちはもとより教員への負担軽減などに大きく寄与している。特別支援学級の児童数増加に伴い、現状では対応しきれない状況が多く見られているとの報告もある。教育支援員だけの問題で事足りるわけではないが、最低でも各学校に1名の配置を求めるものである。学校現場の厳しい状況に対する教育委員会の考えを伺う。		